

2018年9月18日
アイテック阪急阪神株式会社

クラウド版 標的型攻撃対策サービス「Cloud Shield・i」の提供開始について
～インターネット分離により、従来の操作で安全性の高いブラウジングを実現します～

アイテック阪急阪神株式会社（本社：大阪市福島区、代表取締役社長：浜田真希男、以下「アイテック阪急阪神」）は、本日から新しいアプローチによるクラウド版 標的型攻撃対策サービス「Cloud Shield・i」（以下、「本サービス」）の提供を開始いたします。本サービスは、株式会社アシスト（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大塚 辰男、以下「アシスト」）が総代理店として販売する Ericom Software Ltd.製のインターネット分離ソリューション「Ericom Shield」とアイテック阪急阪神のクラウドプラットフォームである「i-TEC マネージドクラウド」を組み合わせたものであり、企業ネットワークにおける情報漏えいリスクの極小化をはじめ、高度なセキュリティ対策としてご活用いただけます。

1. 本サービス提供の背景

近年、企業ネットワークにとってマルウェアは大きな脅威であり、IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）の調査によると、インターネットがその感染源の多くを占めます※。これに対して、多くの企業が様々な検知型セキュリティソリューションを導入していますが、未知のウイルスへの対策はいまだ困難な状況です。

そこで、脅威の元となるインターネットと、内部ネットワークを完全に分離するソリューションの提供を開始しました。本サービスは、脅威を見つけてから対処する従来の検知型セキュリティソリューションとは異なり、脅威が内部ネットワークに侵入する前に分離して封じ込めるものであるため、未知のウイルスを検知するための課題にも有効なソリューションとなっています。

※出典：独立行政法人情報処理推進機構「企業のCISOやCSIRTに関する実態調査2017」2017年4月13日

<https://www.ipa.go.jp/security/fy29/reports/ciso-csirt/index.html>

2. 本サービスの特徴

(1) クラウドサービスにより導入が容易

本サービスをクラウドで提供することで、「初期導入コストの大幅な削減」と「導入スピードの迅速化」を実現します。また、月額料金でサービスを利用いただけるため、無駄のない最適なセキュリティ対策投資が可能となります。

(2) 高いセキュリティを実現

Web コンテンツ内の感染リスクのあるコードを、内部ネットワークから隔離された仮想領域上で実行することで、お客様端末側では安全なブラウジングを実現でき

※本プレスリリース記載の情報は発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、
予めご了承ください。

■ アイテック阪急阪神株式会社

本社：大阪市福島区海老江 1-1-31

設立：1987年7月

資本金：2億円

代表取締役社長：浜田 真希男

URL：<https://itec.hankyu-hanshin.co.jp/>

■ 株式会社アシスト

本社：東京都千代田区九段北 4-2-1

設立：1972年3月

資本金：6,000万円

代表取締役会長：ビル・トッテン／代表取締役社長：大塚 辰男

URL：<https://www.ashisuto.co.jp/>

【本件に関するお問合せ先】

アイテック阪急阪神株式会社 ソリューション事業統括本部 西日本営業本部

西日本営業部 営業1課：Cloud Shield -i 担当

TEL：06-6344-0381